

「舞踏アーカイヴプロジェクト」

～新たなダンスアーカイヴの創造～

東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会 第15回

助成対象団体：特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想（DAN）

時代の中で変化するダンスを記録し、新たな価値を次世代に伝えるためのアーカイヴの創造を目的に活動している特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想は、本助成対象事業を3つの柱で実施しました。

- ◆場所を持つアーカイヴから、ヴァーチャルなアーカイヴに発想を転換した独自のシステム「舞踏デジタルアーカイヴ」を開発・公開。
- ◆世界における舞踏の活動状況を俯瞰できるように定量的、定性的なデータを収集する「舞踏リサーチ2017-2019」を実施。
- ◆アーカイヴ資料を活用した作品創作と発表を行う実例を示し、アーカイヴの意義を周知させる「リコンストラクション試演」を開催。



助成対象事業3年間の取り組みから得られた成果と課題、そして、ここから更に発展したアーカイヴ関連事業など、独創的なアーカイヴの取り組みをお話しいたします。また、新型コロナウイルスの蔓延で舞台活動が停滞した状況を経て、今日のアーカイヴの可能性や必要性などについて、参加者の皆様と情報共有できる機会にしたいと思います。

登壇者紹介

助成対象団体DANのメンバーと「リコンストラクション試演」活動で創作活動を行ったアーティストにご登壇いただきます。

■ 特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想 <https://dance-archive.net>

これまで資料室として扱われてきたアーカイヴから拡張し、ダンスアーカイヴを活用する研究や創作・発表の事業など主体として活動する運動体としてのアーカイヴを目指した活動を展開している。

登壇者：溝端俊夫（特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想 代表理事）

飯名尚人（特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想 理事/Dance and Media Japan主宰）



■ リコンストラクション試演の取り組みを行ったアーティスト

・土方巽「病める舞姫」のテキストから「ザ・シック・ダンサー」を創作・上演

登壇者：川口隆夫（ダンサー・パフォーマー）

田辺知美（舞踏家）

・ドイツ表現舞踊の歴史的な作品「緑のテーブル」（1932年）に着想を得た「緑のテーブル2017」を創作・上演

登壇者：岡登志子（アンサンブル・ゾネ主宰、振付家）

東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】

アーツカウンシル東京では発表活動だけでなく、リサーチや試演など作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的として、長期間の活動に対して最長3年間助成する「東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】」を実施しています。



開催日時：2023年1月24日(火) 19:00～21:00（開場18:45）

参加無料（事前申込制／先着順）

手話通訳・UDトークによる情報保障あり【手話通訳：橋本一郎、佐藤晴香】

申込締切：1月23日(月)12:00



【会場参加】

アーツカウンシル東京 5階会議室（定員40名）

東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス 5階

申込方法：QRコードより必要情報を記入の上、

お申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S355462733/>



【オンライン参加】

Zoomウェビナー（定員500名）*ライブ配信のみ

申込方法：QRコードより必要情報を記入の上、

お申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_HDwV8gRzTjazFwiYBru3Ag



主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
問合せ：「長期助成活動報告会」運営担当（合同会社syuz'gen）
E-mail：act_tj@syuzgen.com FAX：03-4333-0878

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・音声の収録を行い、後日アーツカウンシル東京のウェブサイト等で公開します。記録映像のアーカイブ公開はありません。予めご了承ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、内容の変更あるいは中止や延期の可能性があります。